



# センター通信

〒 123-0873 東京都足立区扇 1-12-20  
TEL (03)3856-2728 FAX (03)5939-7880  
URL www.wfc.or.jp

## 60 周年記念チャリティー大バザーを終えて

7月22日(日) 恒例の隔年に1度のチャリティー大バザーを開催致しました。当日は、猛暑と言う事もあり、来場者が激減でしたが、扇風機しかない体育館にあって、も事故も無く終えられたことを有り難く思っております。

諸般の事情で準備を始めるのが遅くなりましたが、担当職員は各々の担当部署でちゃんと事前準備をし、前日・当日の搬入・搬出は勿論、開催中の仕事もボランティアの方々と共にきちんとこなしました。勿論、各事業所にて通常業務をこなしてくれる職員の協力も成功裡に終えた要因です。

このバザーを開催する度に思う事は、如何に多くの後援者によって当法人が支えられているかと言う事です。折に触れて寄付物品や寄付金を送って下さる方々、それをきちんと仕分けして下さる方々、そして賞品・商品を寄



付して下さる企業・団体・個人の方々に加えて当日のお手伝いをして下さる方々と延べ人数にしたら数百人に及ぶと言っても過言では無いでしょう。

多くの心ある支援者の皆様に役職員一同が励まされ、次世代の担い手である子ども達の為に、今後も努めていこうと気持ちを新たにしました。この場を拝借して改めて心より感謝申し上げます。

社会福祉法人青少年福祉センター  
理事長 荒船 亘子

### ◆◆ センターの店 ◆◆

支援者の皆様から絶え間なくお送り頂く物品を週1回、精鋭10名が暑い日も寒い日も黙々(?)と仕分け、値付けをして今回に備えました。今回のバザーでは、会場に運ぶ商品を前回の3分の2程度にし、準備した3台の2トン車も余るほどでしたが、気温と湿度は2倍とあって、10分間積み込み作業をして5分間休みの繰り返し。水分を取り、塩をなめ、滴る汗を拭きながらの作業でした。



当日も気温と湿度は高く、熱気は最高。残念ながらお客様は少なかったような気がします。体育館は沢山の扇風機が大活躍で、クーラーはないのですが、天井が高く売り場も広がったですし、お買物を楽しんで頂けたのではと思います。お手伝いの方々は、今年も、みこころ会、

三光会、佐々木様、平野様、西尾様、アクシス様他、総数で200名近くでした。お暑い中でのお手伝い、心から感謝申し上げます。皆様、大汗をかかれたと思います。和気あいあいと楽しい雰囲気があったように思え、本当に有難うございました。2年後も又お目にかかりたく、よろしくお願い申し上げます。

ボランティア 小池 那智子・吉村 加寿代

### ◆◆ 食品コーナー ◆◆

今回のバザーでも、多くの方々に食堂に足を運んでいただきました。特に猛暑日であったことからか、ドリンクコーナーの売れ行きは素晴らしく、あっという間に用意していたペットボトルが姿を消してしまいました。また、アイスクリームやかき氷もお子様からご高齢の方まで、多くの方に楽しんでいただけたように思います。暑い中、調理して下さった赤坂飯店様の焼きそばも変わらず好評でした。ボランティアの方々も会場設営から片付までお手伝いをして下さり、お陰様で食堂運営を無事に終えることが出来たと思っております。ご寄附・ご協力くださった方々、そして酷暑の中、足を運んでくださった皆様に心より感謝申し上げます。

担当 清周寮 おうぎ寮

## ◆◆ ラッフル抽選会 ◆◆

青少年福祉センター後援会主催のチャリティ大バザーは、今年で15回目を迎えました。多くの企業、後援者の皆様からの温かいご支援により、素敵なラッフルの賞品を用意することができました。バザー当日は猛暑の中、多くのお客様が足を運んでくださりラッフル抽選会を楽しまれたように思います。お客様が当選を喜ばれている姿を見ることができたのも、多くのご支援者の皆様のお力添えがあるからこそだと感慨深いものがありました。



また、青少年福祉センターの卒寮生もチャリティバザーのお手伝いに駆けつけてくれました。社会人として立派に成長した姿を見ることができ、施設職員として大変嬉しい機会となりました。チャリティバザーは協力してくださる方、参加してくださる方がいてはじめて成り立ち、未来ある子どもたちのための社会貢献へと繋がっています。この場をお借りしまして、多くの皆様のご厚情に心より感謝いたします。

担当 暁星学園

## ◆◆ お祭り広場 ◆◆

2年に一回のチャリティ大バザー。青少年福祉センターは60周年を迎えての開催です。今年は特別暑かったですが、そんな中でお祭り広場にはご家族連れで大勢の方にご来場いただきました。私達スタッフも会場の暑さも忘れて、ゲームを楽しんでいる小さい子ども達の笑顔がとても励みになりました。

今回、お祭り広場の新企画として綿あめ、ポップコーンの提供を行いました。暑い中での綿あめの販売は、さすがに暑さで砂糖が溶けてしまうというハプニングにスタッフ一同、苦笑するしかありませんでした。それでも小さなお客様が1つ2つと買ってくださり、ほおぼっている姿がかわいらしく、とてもやりがいを感じました。次回もワクワク楽しんでいただけるよう、スタッフ一同新しいアイデアでお迎えしようと思います。

担当 長谷場新宿寮 あけの星学園

### 収支報告

収入		支出	
寄附金	1,853,500	通信費	82,000
ラッフル券	1,877,600	賞品送料	7,427
センター店	1,662,440	消耗品費	12,863
食品	360,900	印刷費	68,040
お祭り広場	50,500	交通費	38,741
出店	33,440	材料費	116,382
総収入	5,838,380	保険	21,420
		雑費	183,143
		総支出	530,016

本バザーに協賛してくださった皆様に、厚く御礼申し上げます。

愛星くびの会	三栄コーポレーション	東京西北ロータリークラブ	ぶらう
赤坂飯店	三光会	東京福祉会	ブルーミング中西
アクシス	サンヨー食品	東京ワセダロータリークラブ	ぺんてる
足立社会福祉協議会	サンヨー堂	東京ロータリークラブ	ボラ市民ウェブ
石井食品	サンベルクス	東通工業	みこころ会
「憩いの園」在日協力者会	新宿社会福祉協議会	虎屋	ミズノ
伊藤園	ジュン・アシダ	ナイトウ総合計画事務所	もぎ豆腐店
インターナショナルジュエリーアート	セイコーウォッチ	なのの会	吉田
大前田鶴子	聖心インターナショナルスクール	似鳥工務店	ロッテ
カバヤ食品	ソロプチミスト東京一広尾	ニチゲン	CoCoRo
川名商店	ソロプチミスト東京一弥生	日本中近東アフリカ婦人会	PEONY BLOOM
木原和子	千代田キワニスクラブ	日本動物福祉協会	
き・ら・ら・	テスコム	福祉会計サービスセンター	敬称略・順不同
ケニア紅茶	東京厚生信用組合浅草支店	富士ベッド工業	

その他、多くの個人、団体の方からの沢山のご寄付、ご協力をいただきました。

## 園長交代のお知らせ

理事長 荒船 旦子

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、4月1日より、暁星学園の園長小野寺克彦が65歳の定年を迎え、常務理事として専任することに致しました。園長には今まで本部事務長をしていました権藤聖一を選任致しました。

昨年、社会福祉法の改正が施行され、施設単位での責任よりも法人としての責任が問われるようになりました。当法人と致しましても、新しい組織作りを念頭に、外部有識者を加えてアドヴァイスを受けながら進んで参ります。法人本部が、各施設の業務軽減を考えた事務作業を行うだけでなく、中長期を見据えた法人の方向性を明確にしていき、子ども達だけでなく職員の安心・安全を確保できるように皆で知恵を出し合って、今後も事業を継続して行かれるようにと努めて参ります。と同時に、新規の後援者を増やせる努力を続け、後援者の皆様のお力を拝借しつつ、より良い事業を継続していかれるようにと、皆で力を合わせて参りますので、よろしくお願い申し上げます。



5年間の法人本部勤務を経て、4月1日付けで再任致しました。私自身は、前身の職業訓練校時代より、当園で勤務しておりました。法人本部勤務時代には、社会福祉

法の一部改訂があり、社会福祉法人が果たす役割がより具体的に示されました。このことにより、施設にもその役割を履行すべき人員や体制を整える必要があります。訓練校時代は、子ども達が自ら退所後の目標を持って生活し、ある程度は画一的な支援で十分でした。しかし現在は、目標実現に向けた個別の支援が必要であり、法人理念である「良い子を育てて、次世代の担い手を育む」ために、職員は多くの時間を費やしております。入所してくる子ども達の多くは、虐待を受けております。各々の職員に求められるものも高度化・多様化し、支援が難しくなってきております。

法人理念の実現は、職員がいるからこそできることです。私自身の役割は、職員が「安心・安全」して働き続けられる職場作りに取り組み、次世代の担い手でもある職員を育てることです。その結果として、子ども達が目標に少しでも近づけるよう、支援が充実できると考えております。前任者同様に、ご指導・ご支援を戴けますよう、宜しく願い申し上げます。

権藤 聖一



平成25年4月1日から平成30年3月31日までの5年間、児童養護施設暁星学園の園長を賜り、13歳から18歳の高齢児を対象とした次世代を担う児童の自立支援とアフターケアをテーマに

社会的養護の使命を遂行すべく実践に取り組んでまいりました。入所児童の抱える課題は、深刻で重篤です。虐待・適応障害・不安・不信・不満が内在化して、一歩前に踏み出せないで一人困ってる思春期の多感な子供たちのセーフティネットとしての役割を担ってきました。

利用者のニーズに応えるべく、専門機能強化型システム、地域小規模グループホームの新設、養育里親のレスパイト対応等数々のプロジェクトに挑んで参りましたが、ニーズとサービス供給とのバランスがうまく取れないジレンマと葛藤の日々でした。何度となく、挫けて諦めてしまいそうになりました。そんな時に私を支えてくれたのは、暁星学園の職員と利用者の子供たちでした。私が5年間園長として、やってこれたのは、皆様のおかげと心から感謝申し上げます。暁星学園は、私にとって、かけがえのない存在そのものでした。

今後は常務理事として、法人全体を見ながら、子ども達のみならず職員にとっても、安心・安全な環境を推進しつつ、安定した法人運営を遂行できるように努めて参りますので、よろしくお願い致します。

小野寺 克彦

# 近 況 報 告

## 山中湖林間寮のようす



平成 29 年度より、社会福祉法人クリスト・ロア会に協力して山中湖にある林間寮の運営に携わっています。山中湖には徒歩 2 分程度の距離で、広大な敷地にログハウスがいくつも建っており、キャンプファイヤーや BBQ が出来たりと自然を満喫できる環境にあり、熱帯夜が続く東京の暑さと違い涼しく、過ごしやすい環境です。昨年度は、東京都の自立援助ホーム長研修やあけの星学園の夏休み行事に利用しました。今年度は法人内宿泊研修を林間寮で行う予定で、内容も自然を満喫できるものにしたいと考えている最中です。また、各事業所の行事で利用する予定もあります。利用者の行事や研修だけでなく家族単位での利用も可能な為、是非皆さまにも利用して頂きたいと思っています。

## 児童養護施設 暁星学園のようす (定員 30 名)

暁星学園におけるアフターケアについてお伝えします。

今年の 4 月、U 君 (16 歳) が 2 週間職場に出勤していないことを受けて、職員が本人と連絡を取り、一緒に会社に出向き謝罪し、退職しました。その後は自立援助ホームへの入所を本人に勧めたり、児童相談所にも相談したりしましたが、ルールに縛られたくないと

いうことで、再度住み込みの就労先を探すことになりました。最終的には銀座にある焼き鳥店に住み込み就労することができました。

U 君は学園に入所中は、職員に悪態をつき無断外泊等の問題行動を繰り返していましたが、学園を退所後には、職員と相談できるようになっていました。児童の支援は入所中のみならず退所後の支援 (アフターケア) も重要と考えます。退所した子どもたちが社会に出てから困ることはとても多いため、困ったときに職員に相談できることが必要な支援につながります。



## 児童養護施設 あけの星学園のようす (定員 20 名)

あけの星学園は、昨年度大学に合格して退所した児童がおり、東京キワニスクラブ、なの会基金をはじめたくさんの奨学金に支えられて、元気に生活しています。

年度末に児童の顔ぶれが変わったため、ゴールデンウィークに各フロア・ホームで宿泊行事を実施し、それぞれ親交を深めました。こどもの日や七夕は、園内の飾り付けや調理実習を計画し、祭事にも力を入れています。

高校 2 年生の N 君は、自分で買ってきた花の苗を寄せ植えし、玄関先に飾って毎日水遣りをしています。その甲斐あってか、大きく育った花に囲まれて、学園の玄関が癒しの空間になりました。学業も優秀で、大学進学を目指してアルバイトを始めるところです。彼が希望する進路に向けていかれるよう、職員一丸となって支援していきたいと思っています。



## 自立援助ホーム 長谷場新宿寮のようす (定員男子 15 名)

長谷場新宿寮生は、仕事や生活、将来の悩み等、色々な壁にぶつかりながらも日々成長しています。寮生同士が刺激し合い、皆が働く良い雰囲気へと繋がっています。



年頃の男児にとっては厳しい社会かもしれませんが、休日には多くの行事を企画しながらリフレッシュと余暇の充実を図っています。ゴールデンウィークには5つの行事を実施し、各々が休日を利用して参加しました。

6月には、株式会社FTG company様の御厚意でBBQが実施され、食の大切さを皆で学びました。その中では、実際に働く方々からの仕事への熱い情熱が語られ、寮生たちも自身の悩みに対してアドバイスを頂いていました。

これから暑い夏を迎えますが、打ち勝つ熱い気持ちで乗り切ります!!

## 自立援助ホーム 清周寮のようす (定員女子 15 名)

4月より新人職員1名を迎え、新しい職員体制になり、寮長含め7名の職員体制で運営を行っています。現在、正社員3名、高校生5名、大学生1名、専門学生2名を含む12名が自立や夢に向かって生活しています。また、専門学生2名は学校に行きながら、正社員として保育園で働いており、疲れや課題と闘いながら頑張っています。

清周寮では例年2月に宿泊行事や、遠出の行事を開催していましたが、学生の増加により、開催時期を春休みに設定し、今年は3月に1泊2日で大阪USJ・道頓堀食べ歩き行事を実施しました。その為、多くの児童が参加し、皆楽しんでおり、リフレッシュできたのではないかと思います。

今後は自立後にも役立てるような行事を計画していきたいと考えています。



## 自立援助ホーム おうぎ寮のようす (定員 6 名)

今年も夏を感じる季節がやってきました。おうぎ寮の子ども達は今日も元気に仕事に遊びにと向かって行きます。

13年目を迎えたおうぎ寮は建物の老朽化が進み、去年、1人の子どもよりエアコンの水漏れの報告があり、業者に来てもらうと寿命であるとの診断を受けました。

子ども達の安全で快適な就寝にはエアコンが必要不可欠あり、居室、宿直室と計7台の取り付け終えた結果、新しいエアコンは子ども達の健康と生活を支えてくれています。

私達の仕事は子ども達を直接支援するだけではなく、生活環境を整備するというとても重要な役割を担っています。また、子ども達だけでなく職員の労働環境を改善していく視点も大切です。綺麗な環境が綺麗な心を育むという言葉をもっと、おうぎ寮が誰にとっても快適で安心できる空間になる様これからも環境整備に力を入れ、子ども達により良い生活を提供していきたいと思ひます。



平成 29 年度 決算書 (資金収支計算書一部抜粋)

(単位:円)

	社会福祉事業									公益事業
	法人合計	本部	長谷場新宿寮	清周寮	おうぎ寮	暁星学園	あけの星学園	ノエル	山中湖林間寮	
経常収入										
勘定科目/事業所										
児童福祉事業収入	568,008,428	0	55,722,918	57,685,451	27,909,512	256,390,239	170,300,308	0	0	
障害福祉サービス事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
寄附金収入	26,842,812	18,777,176	2,773,243	350,000	3,072,100	898,361	971,932	0	0	
雑収入(受取利息含む)	13,342,208	2,743,963	2,020,828	1,033,410	618,053	4,172,470	2,690,040	63,444	0	
収入計	608,193,448	21,521,139	60,516,989	59,068,861	31,599,665	261,461,070	173,962,280	63,444	0	
経常支出										
人件費支出		26,337,682	38,341,712	38,178,723	25,761,108	168,506,181	107,683,735	138,414	0	
事務費支出	61,036,936	13,724,351	4,440,387	3,493,141	2,128,197	23,260,158	13,632,313	358,389	2,755,747	
事業費支出	79,573,463	0	7,821,783	5,280,667	2,205,808	39,291,730	24,947,704	25,771	0	
雑支出(支払利息含む)	8,177,631	572,782	1,037,950	950,542	415,901	3,150,333	2,050,123	0	0	
支出計	553,735,585	40,634,815	51,641,832	47,903,073	30,511,014	234,208,402	148,313,875	522,574	2,755,747	
経常活動資金収支差額	54,457,863	-19,113,676	8,875,157	11,165,788	1,088,651	27,252,668	25,648,405	-459,130	-2,755,747	

第 10 回青少年福祉センター成人式 開催



去る平成 30 年 1 月 13 日に成人式を開催いたしました。早いもので、法人全体で行う成人式は今回 10 回

目となり、子ども、職員共に毎年お祝いをする意識が定着し、担当職員も多忙な日常業務に加えてより良い式となるように皆で力を合わせて準備を整えました。今回の対象新成人は 44 名でしたが、当日参加してくれた新成人は 24 名でした。男性はスーツ、女性は振袖を身にまとい、今まで我が儘を言っていた子が変身し大人となった晴れ姿を見て感動しました。更にそんな子から涙ながらに感謝の言葉を改めて言われる場面もあり、この仕事をしていて感じる大きな喜びのひとつとなっております。これから先も大変な人生の荒波を逞しく乗り越えて行って欲しいと願いながらお祝いしました。

成人式担当事業所長 大屋 桂子

成人式にご協賛くださいました企業・団体の方々に感謝申し上げます。

一般社団法人 いけばなインターナショナル東京支部  
 国際ソロプチミスト東京 - 広尾  
 国際ソロプチミスト東京 - 弥生  
 東京西北ロータリークラブ  
 株式会社 エキップ  
 岡本 株式会社  
 株式会社 カタログハウス  
 株式会社 カネボウ化粧品  
 京王プラザホテル  
 京都きもの友禅 株式会社  
 株式会社 コスモス

成和 株式会社  
 ゼブラ 株式会社  
 一般財団法人 まちづくり地球市民財団  
 株式会社 タカキュー  
 株式会社 似鳥工務店  
 マドラス 株式会社  
 株式会社 丸昌  
 株式会社 守屋  
 株式会社 吉田  
 株式会社 ロフト  
 ホテル ラングウッド

敬称略・順不同

編集後記

猛暑の 7 月 22 日(日)、チャリティ大バザーが聖心インターナショナルスクールで行われました。当日の担当職員の努力もさることながら、ボランティアの方々の“熱い姿勢”には驚かされました。一方、センター通信の編集に初めて携わり、職員が子ども達を支えるために、寮・学園の設備の維持・改修等の物理的な管理、子ども達の健康管理・内面の観察、指導、幅広く対応し、それらの中で最も大変な事は、子ども達が自立し、社会に旅立って行けるよう指導する姿勢だと認識させられました。本部職員として、今後も後方支援していきたいと思っています。(野本)